

【第 145 回対策本部会議】 11 月 4 日

健康福祉部長／直近 1 週間の感染状況は、先週が 200 人台、今週は 300 人台。本日の感染者数は 112 人、昨日が祝日のため少なかったが、先週よりも増加している。

増加の理由は、先日公表した医療機関のクラスター。対策として、発生直後に保健所から保健監と保健師が現地に出向き、ゾーニングや感染拡大防止対策を指導している。感染者数が多かったため、ゲノム解析を行った。全て BA.5 系統で、新たな変異株はなかった。引き続き、状況を注視し対応する。

本日の入院者数は 74 人、病床使用率は 12.8%、うち中等症者は 15 人、中等症者の病床使用率は 2.6%、重症者はいない。ホテル療養者が 21 人、ホテル使用率は 4.3%。

直近 2 か月間の 1 週間ごとの感染者数は、8 月 28 日～9 月 3 日が 7,920 人。お盆過ぎがピークで 14,000 人、そこから徐々に減少し 10 分の 1 ほどになった。

一番少ないときが 3 週間前の 1,222 人。2 週間前が 1,388 人、先週が 1,415 人、今週は 1,700 人ほど。全国的に同様の増加傾向。

厚生労働省の専門家会議では、夜間の人流増や寒さのため換気不足が、増加の要因と指摘している。

年代別の感染者の割合は、20 代以下が 4 割、40 代以下が 7 割、高齢者が 1 割強。今回のクラスターでは、入院患者の多くが高齢者のため、高齢者の割合が 1 割を超えた。今後も感染状況を注視し、重症化リスクのある高齢者等への対応に取り組む。県民の皆様は、引き続き感染防止対策に取り組んでほしい。

今冬は、コロナと季節性インフルエンザの同時流行も懸念されている。両ワクチン接種を早めに検討してほしい。

坂本副知事／大規模接種会場のウェブ受付が、11 月 2 日から始まった。BA.5 に対応しているので、ぜひ接種を検討してほしい。

知事／アルファ株やデルタ株のときは、感染者数が一旦ゼロになった。オミクロン株は、1 日の感染者数が 3,000 人弱まで増え、そこから減少したが、ゼロに近づかず横ばい。

佐賀では、5 人に 1 人が感染した。お盆の時期に感染者数が多かった沖縄県や鹿児島県が、現在は 46 位前後。逆に、お盆の時期に感染者数が少なかった東北地方が、現在は上位にきている。既感染者がいると、そこで感染が止められるのかもしれない。今後、換気が不十分な中、冬に向かって数字がどう推移していくのか。

BA.5 なら、感染力は強くても重症化しにくいいため、折り合いをつけられる。また、変異株に備えるため、適宜ゲノム解析を取り入れる。

病院内でのクラスターは、感染拡大を避けるため、保健監を派遣し現地指導を行った。感染拡大防止の対策を取っていく。ワクチンは、オミクロン株の予防効果もあるので、年内の接種をお願いします。

改めて、医療現場など様々な現場でコロナ対応に尽力する皆さんに心から感謝する。バルーン大会や唐津くんちなど、イベントも行われるようになった。折り合いをつけながら対応したい。